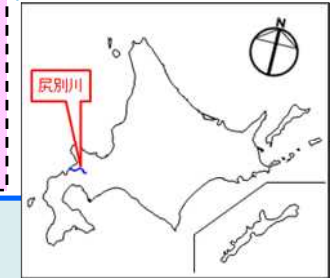


水防訓練：【尻別川】「水防工法実技訓練」を関係機関と連携し実施しました



◆洪水時における円滑な水防活動の推進を図るとともに、防災関係機関の水防体制の強化に資することを目的として蘭越町主催による「蘭越町水防工法実技訓練」を実施しました。訓練は、蘭越消防団(水防団)による水防工法の実技訓練や防災意識の向上を目的とした水防災に関するパネル展示を行いました。

訓練の概要

- ◆実施日時：令和2年9月25日(金)9:30～11:30
- ◆場 所：蘭越町 尻別川河川公園
- ◆参加者：蘭越町・蘭越消防団(水防団)・蘭越建設協会・羊蹄山ろく消防組合・後志総合振興局・北海道警察 陸上自衛隊・小樽開発建設部

計 8機関 140名 (水防団含む)

水防工法実技訓練の様子



新型コロナウイルス感染予防対策として、マスクを装着し、離隔を確保

参加者整列



水漏れの拡大を防ぐ

月の輪工の設置状況



水の流れの勢いを弱めて堤防が洗掘されるのを防ぎます

木流し工の設置状況



堤防からの越水を防ぎます

改良積み土のう工の設置状況



堤防の洗掘や漏水を防ぎます

シート張り工の設置状況



水防災パネル展示

水防とは

洪水時には、河川管理者が整備している堤防等の治水施設の効果とあわせ、市町村の地域住民が実施する水防活動によって、洪水被害の拡大を防いでいます。水防とは自らの地域を自らの手で守る自衛の減災活動であり、その中心となるのが水防団です。

洪水の際に堤防から水が溢れ出る(越水)、水の流れて削られる(洗掘)、亀裂、崩壊、堤防もしくは地面からの水漏れ(漏水)などによる被害の拡大を防ぐための様々な水防工法があります。

・訓練の参加者は、水災害に備えるため、緊迫感をもって実技訓練に取り組みました。

◆尻別川では、大規模水害に対し「迅速・確実な避難のための防災意識向上」、「社会経済被害の最小化」を目標とし、関係機関と連携して、防災教育、防災講演会、防災訓練など「減災に関する取組」を地域住民を含め実施しています。

「尻別川の減災に関する取組方針」、取組事例については、小樽開発建設部ホームページに掲載しています。

(参考) 小樽開建HP：<https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/koumu/vu2tjq0000000oym.html>